

全日本軟式野球福岡県連盟福岡市支部

【設立年月日】

1946（昭21）年 8月26日

【加盟年月日】

1962（昭37）年 1月25日

【歴代会長】

2006（平18）年 石川 浩二郎

2011（平23）年 浜崎 太郎

【沿革】

2011（平23）年4月から浜崎太郎、野村天朗体制がスタートし、一般から学童まで年間約1,000試合の審判を行っています。

2011（平23）年から2020（令2）年を振り返ると、先輩たちの輝かしい実績を見ることができますが、近年は、社会情勢の大きな変化、経済界を取り巻く状況の厳しさや、少子高齢化社会の急速な到来、他スポーツ競技の多様化などで低迷を余儀なくされています。今日の野球界を取り巻く状況は全国的に極めて厳しく、福岡市といえども例外ではありません。チーム並びに軟式野球競技者の減少、審判員や指導員資質の低下は否めないのが実情です。そうした背景の中で、例年4名程度とかなり狭き門の日本野球機構（NPB）へ2016（平28）年に高校生から活躍していた審判員山原佑太、2020（令2）年にルートインBCリーグに権丈光輝、松尾虎太郎が合格しました。



左から浜崎、野村、吉塚、抽選会会場

更に、低学年・学童野球、および少年軟式野球の普及、振興および審判員や指導員の養成に力を注いできました。

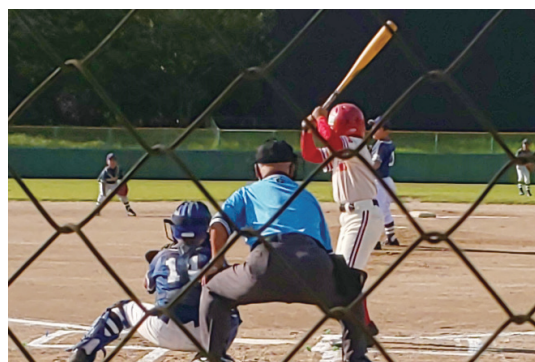
最近では、2019（令元）年の高松宮賜杯第63回全日本軟式野球大会（一部）の全国大会を福岡県で行い、福岡トヨタ自動車株式会社が準優勝となりました。

【現在の活動】

福岡市支部は、福岡市における軟式野球の普及発展を図り、市民の体力向上、心身の健康を保持し、地域社会に貢献することを目的にして活動しています。

連盟登録では、一般34チーム・586名、少年（中学）30チーム・580名、学童（小学生）52チーム・939名、の計116チーム・2,105名が軟式野球を通じて競技技能の向上、加盟チーム相互の親睦を図る活動をしています。

また、登録審判員は、技術向上に努め40名で活動しています。



2020（令2）年10月福岡県大会（低学年）

■本協会主催の大会・教室

- ・市民総合スポーツ大会Aクラス
- ・市民総合スポーツ大会Bクラス
- ・市民総合スポーツ大会Cクラス
- ・市民総合スポーツ大会（学童）